

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		2・東書	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語・109, 国語・110 国語・209, 国語・210 国語・309, 国語・310 国語・409, 国語・410 国語・509 国語・609	新編 あたらしいこころ上, 新編 あたらしいこころ下 新編 新しい国語 二上, 新編 新しい国語 二下 新編 新しい国語 三上, 新編 新しい国語 三下 新編 新しい国語 四上, 新編 新しい国語 四下 新編 新しい国語 五 新編 新しい国語 六
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ [知識及び技能] の内容については、目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～昔話の読み聞かせを聞くなどして、好きな場面を友だちに教える活動や、物の名前を表す言葉を使ってしりとりをしたり、仲間分けしたりする活動</p> <p>第3,4学年～身の回りにある物をローマ字で書いたり読んだりする活動や、いろいろなことわざや故事成語の意味を調べたり、使い方を考えたりする活動</p> <p>第5,6学年～「竹取物語」などの古文を音読し、言葉の響きを楽しむ活動や、相手や場面に応じ敬語や改まった言葉遣いを考えたり使ったりする活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～思ったことを話したり聞いたりして話をつなぐ活動や、伝えたいことを選んで、宝物を紹介する活動</p> <p>第3,4学年～メモを取りながら人の話を聞く活動や、司会や提案者などの役割を意識して話し合う活動</p> <p>第5,6学年～インタビューをして、自分の知りたいことを相手から聞き出す活動や、学校生活をよりよくする工夫を考え、資料を使って提案する活動</p> <p>○ 書くことについては、目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～いろいろな乗り物について、本で調べて乗り物カードを作る活動や、家でしていることについて、友だちが分かりやすいように、文章を書く活動</p> <p>第3,4学年～大事なことが伝わるように、案内の手紙を書く活動や、書いた文章を読み返し、よいところを確かめる活動</p> <p>第5,6学年～心の動きや出来事の様子が伝わるように、表現を工夫して短歌を作る活動や、論の進め方を工夫して、提案書を書く活動</p> <p>○ 読むことについては、目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～物語を読んで、好きなところを見付ける活動や、どんな順序で説明されているかを考えて読む活動</p> <p>第3,4学年～物語を読んで、中心人物の行動や気持ちについて、考えたことを伝え合う活動や、文章を読んで目的に合わせて要約し、紹介する活動</p> <p>第5,6学年～伝記を読んで、生き方について考えたことを感想文にまとめる活動や、文章を読んで、意見や感想を伝え合い、自分の考えを広げる活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～「ことばの力」や「学しゅうのながれ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物の様子を思い浮かべながら音読したり、自分の知っていることを結び付けて文章を読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする</p>			

	<p>活動</p> <p>第3,4学年～「言葉の力」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物の性格について、想像したことを伝え合ったり、自分の体験と結び付けて筆者の考えを捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～「言葉の力」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、物語の組み立てや山場での登場人物の気持ちの変化について、考えたことを伝え合ったり、複数の文章を関係づけて読み、分かったことを整理したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～第1学年で、登場人物の設定を考えながら物語を書く活動、第2学年で、絵を見て場面のつながりを考えながら物語を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～第3学年で、登場人物の様子や場面を想像して音読で表す活動、第4学年で、登場人物の気持ちを想像して音読で表す活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～第5学年で、意図を明確にして計画的に話し合い、考えを広げる活動、第6学年で、自分の立場を明確して話し合い、考えを広げる活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～知識及び技能は52教材、話すこと・聞くことは9教材、書くことは25教材、読むことは17教材であり、総ページ数は320ページで、前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第2学年～知識及び技能は48教材、話すこと・聞くことは5教材、書くことは22教材、読むことは13教材であり、総ページ数は332ページで、前回より約5%減となっている。</p> <p>第3学年～知識及び技能は52教材、話すこと・聞くことは5教材、書くことは24教材、読むことは12教材であり、総ページ数は342ページで、前回より約4%減となっている。</p> <p>第4学年～知識及び技能は55教材、話すこと・聞くことは5教材、書くことは24教材、読むことは12教材であり、総ページ数は332ページで、前回より約7%減となっている。</p> <p>第5学年～知識及び技能は49教材、話すこと・聞くことは5教材、書くことは23教材、読むことは12教材であり、総ページ数は298ページで、前回より約3%減となっている。</p> <p>第6学年～知識及び技能は51教材、話すこと・聞くことは5教材、書くことは24教材、読むことは11教材であり、総ページ数は298ページで、前回より約3%減となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 伝えたいことが相手に伝わるように、工夫して話す活動（第4学年）や相手や目的に応じて情報を集め、パンフレットを作る活動（第6学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、読書に親しむ習慣や態度を育むため、読書単元「本は友達」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「言葉の力を集めよう」で当該学年で学習する単元と「言葉の力」を示したり（第2～6学年）、「言葉の力のつながり」で「言葉の力」の系統表を示したり（第3～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 独自開発の教科書体を中心に、文字の小さな箇所にはUDフォントを使用したり（全学年）、紙面内の文字や図版などの区別を明確にし、配置</p>

	<p>や色使いを工夫したり（全学年）するとともに、二次元コードを掲載し、単元導入の動画やアニメーション、「話すこと・聞くこと」のモデル動画等を活用できるようにする（第2～6学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域素材については、第1学年から第5学年まで、学校図書館の利用方法について学習し、並行読書や発展的な読書などに活用できるように配慮がなされるとともに、第6学年では地域の社会教育施設の見学や活用が促されている。</li> <li>○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、「デジタルノートの作り方」（第3～6学年）を巻頭に設定し、年間を通じて、調べたことや考えたことを整理したり、まとめたり、交流したりできるよう工夫がなされている。</li> <li>○ 小・中連携については、第6学年において、学年末に「『言葉の力』をふりかえろう そしてつなごう、中学校へ」を設定し、小学校で身に付けた言葉の力の確認と中学校への意欲化を図ることができるよう工夫がなされているとともに、第5学年と第6学年は、学年1冊の教科書となり、中学校入学時の環境の変化へ対応できるように配慮がなされている。</li> </ul>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が単元の学習で身に付けた言葉の力を、その後の学習や生活で活用できるように、単元末の「ふり返る」の中で、「言葉の力」としてその学習で身に付いた力を明示したり、学んだことを他教科・他領域に活用できる場面を「生かそう」として例示したりするなどの工夫がなされている。</li> <li>○ 目的に応じて、複数の資料から必要な情報を取り上げて表現する力を育むことができるよう、様々な方法で情報を収集して、新聞や紹介文を書く活動、報告やスピーチを行う活動等が設定されるとともに、筆者の文章と複数の資料を関連付けて読み、自分の考えをまとめ、表現する題材が設定されるなどの工夫がなされている。</li> <li>○ 文章を根拠にして、自分の考えをまとめる力を育むことができるよう、教材文の前ページの「見通す」で読む目的を明確にするとともに、「取り組む」の上段で学習過程に沿った課題を示し、下段で思考の方法や流れを例や図で示す配慮がなされている。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 語彙を豊かにし、表現力を高められるよう、巻末に「言葉の広場」（第2～6学年）が設定されるとともに、「言葉相談室」（第2～6学年）で、話したり書いたりする際に言葉を適切に活用できるよう工夫がなされている。</li> </ul>

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		17・教出	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語・111, 国語・112 国語・211, 国語・212 国語・311, 国語・312 国語・411, 国語・412 国語・511, 国語・512 国語・611, 国語・612	ひろがることばしょうくご一上, ひろがることばしょうくご二下 ひろがることば小学国語二上, ひろがることば小学国語二下 ひろがる言葉小学国語三上, ひろがる言葉小学国語三下 ひろがる言葉小学国語四上, ひろがる言葉小学国語四下 ひろがる言葉小学国語五上, ひろがる言葉小学国語五下 ひろがる言葉小学国語六上, ひろがる言葉小学国語六下
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ [知識及び技能] の内容については、目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～昔話などの読み聞かせを聞いて面白いと思ったところを発表する活動や、言葉探しゲームで似た意味の言葉をまとめる活動</p> <p>第3,4学年～日常使われている簡単な単語についてローマ字で読んだり書いたりする活動や、故事成語などの意味を調べてカードを作り、相手に紹介する活動</p> <p>第5,6学年～相手や場面に応じて敬語を使う活動や、「枕草子」などの古典を音読して、昔の人のものの見方や感じ方を知る活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～話す事柄の順序に気を付けながら発表する活動や、質問したり答えたりしてつないで話し合う活動</p> <p>第3,4学年～調べたことを資料にまとめて大事なことが伝わるように発表する活動や、役割に気を付けながら話し合う活動</p> <p>第5,6学年～資料を使って効果的に発表する活動や、地域の防災について、パネルディスカッションにおいて立場を明確にして話し合う活動</p> <p>○ 書くことについては、目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～写真を見て想像したことを基に物語を書く活動や、身の回りの生き物について調べてわかったことを基に生き物クイズカードを作る活動</p> <p>第3,4学年～見学したり調べたりしたことをまとめて報告するリーフレットを作る活動や、想像したことを基に、設定や展開を考えながら物語を書く活動</p> <p>第5,6学年～構成や表現を工夫したポスターを作る活動や、文章全体の展開を工夫して物語を書く活動</p> <p>○ 読むことについては、目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～文章と絵を結び付けて読むことのよさについて考えたことを伝え合う活動や、あらすじや心に残ったところなどをまとめて紹介する活動</p> <p>第3,4学年～文章を読んで考えたことをまとめる活動や、登場人物の性格や気持ちの移り変わりについて分かったことを伝え合う活動</p> <p>第5,6学年～事例と解説を基に筆者の考えについて読み取る活動や、伝記を読んで生き方について、自分の考えをまとめる活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～「学習のてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物が考えていたことを想像しながら読んだり、説明の順序に気を付けて内容の大体を捉えて読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～「学習のてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物の気持ちの変化について想像しな</p>			

	<p>がら読んだり，大事な言葉や文に気を付けて要約しながら読んだりするなど，考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～「学習のてびき」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，物語に使われている表現の工夫について考えながら読んだり，筆者の論の進め方についてまとめたりするなど，考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列，分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～第1学年で，身の回りの生き物を友達に知らせる文章を書く活動，第2学年で，身の回りで見付けたものを友達に知らせる文章を書く活動を取り扱うなど，2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～第3学年で，自分の気持ちが相手に伝わるように礼状を書く活動，第4学年で，送る相手や伝える目的に合わせた手紙や電子メールを書く活動を取り扱うなど，2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～第5学年で，意図をもって話を聞いたことを基に考えたことをまとめる活動，第6学年で，相手の思いを考えながら聞き，感想を伝え合う活動を取り扱うなど，2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については，次のようになっている。</p> <p>第1学年～知識及び技能は64教材，話すこと・聞くことは10教材，書くことは15教材，読むことは20教材であり，総ページ数は314ページで，前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第2学年～知識及び技能は55教材，話すこと・聞くことは6教材，書くことは13教材，読むことは15教材であり，総ページ数は334ページで，前回より約1%増となっている。</p> <p>第3学年～知識及び技能は57教材，話すこと・聞くことは9教材，書くことは16教材，読むことは12教材であり，総ページ数は326ページで，前回より約1%増となっている。</p> <p>第4学年～知識及び技能は56教材，話すこと・聞くことは9教材，書くことは19教材，読むことは12教材であり，総ページ数は348ページで，前回より約1%増となっている。</p> <p>第5学年～知識及び技能は48教材，話すこと・聞くことは7教材，書くことは15教材，読むことは13教材であり，総ページ数は346ページで，前回より約3%増となっている。</p> <p>第6学年～知識及び技能は46教材，話すこと・聞くことは7教材，書くことは14教材，読むことは14教材であり，総ページ数は330ページで，前回より約3%減となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 人の話を聞いて，初めて知ったことを友達に伝える活動（第1学年）や写真や図表を効果的に使い，読む人の興味を引く図鑑を作る活動（第4学年）を通して，相手意識や目的意識を明確にするとともに，多様なテーマの図書を紹介した「読書の広場」を掲載する（全学年）など，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「ひろがる言葉」でどのような内容を学び，どのような言葉の力を身に付けるのかを示したり（全学年），各単元で言語活動の具体的な場面をイラストや図版で示したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書体を基本としながら，UDに配慮したオリジナルフォントを使用したり（全学年），色調のバランスや形の上で区別しやすいようカラーUDに配慮したり（全学年）するとともに，二次元コードを掲載し，児童作品例の別バージョンや補完版，資料画像等を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。</p>

<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域素材については，1年生「としょかんへいこう」から4年生「分類をもとに本を見つけよう」，5年生「『図書すいせん会』をしよう」など，各学年において図書館を利活用した学習ができるように工夫がなされるとともに，第6学年では地域の社会教育施設の見学や活用が促されている。</li> <li>○ ICTの活用については，1人1台端末を活用した学習活動として，図鑑の作成（第4学年）やスピーチ（第5学年），パネルディスカッション（第6学年）など，発達段階に応じて活用できるよう設定される工夫がなされている。</li> <li>○ 小・中連携については，第6学年において，学年末に「出会った言葉をふり返ろう」の単元を設定し，小学校の国語の学習の振り返りと中学校の学びへの意欲化を図ることができるように工夫がなされている。</li> </ul>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が単元の学習で身に付けた言葉の力を，その後の学習や生活で活用できるよう，単元の終末に，振り返りの観点や単元で身に付けさせたい言葉の力を示した「ここが大事」が設定されている。</li> <li>○ 目的に応じて，複数の資料から必要な情報を取り上げて表現する力を育むことができるよう，様々な方法で情報を収集してリーフレット，意見文や学級新聞を書く活動，ミニディベートを行う活動等が設定されるとともに，筆者の文章と複数の資料を関連付けて読み，自分の考えをまとめ，表現する題材が設定されるなどの工夫がなされている。</li> <li>○ 文章を根拠にして，自分の考えをまとめる力が育むことができるよう，単元の学習過程に「たしかめよう」「くわしくよもう」「まとめよう」「つたえあおう」を設定し，考えをまとめたり深めたりできるようにするとともに，思考の方法や流れを例や図で示す配慮がなされている。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 語彙を豊かにし，表現力を高められるよう，巻末に「言葉の木」（全学年）で発達段階に応じた語彙を掲載するとともに，単元ごとに「言葉」「言葉を増やそう」を設定し，教材と言葉を関連付けて学習できるよう配慮がなされている。</li> </ul>

観 点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
番号  取扱内容  学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語・113, 国語・114 国語・213, 国語・214 国語・313, 国語・314 国語・413, 国語・414 国語・513 国語・613	こくご一上 かざぐるま, こくご一下 ともち こくご二上 たんぼぼ, こくご二下 赤とんぼ 国語三上 わかば, 国語三下 あおぞら 国語四上 かかがやき, 国語四下 はばたき 国語五 銀河 国語六 創造
<p>○ [知識及び技能] の内容については、目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～昔話の読み聞かせを聞いて面白かったところや出来事について感想を伝え合う活動や、様子を表す言葉やたとえを使って文を作る活動</p> <p>第3,4学年～身の回りで使われている簡単な単語についてローマ字で書いたり読んだりする活動や、短歌や俳句を言葉の響きを楽しみながら音読する活動</p> <p>第5,6学年～「竹取物語」や「平家物語」などの古文の様子を想像しながら音読する活動や、日常よく使われる敬語に使い慣れる活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～友達と相談しながら問題を作ってクイズを出し合う活動や、相手の考えを引き出す質問をし合う活動</p> <p>第3,4学年～質問しながら友達の話詳しく聞く活動や、学級全体で話し合いの議題を決め、役割を意識しながら話し合う活動</p> <p>第5,6学年～意図が伝わるように質問したり、それに答えたりする活動や、質問して考えを広げ、問題点や改善点を明らかにして考えをまとめたりする活動</p> <p>○ 書くことについては、目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～知らせたいことを明確にして手紙を書く活動や、観察したことを記録する文章を書く活動</p> <p>第3,4学年～身の回りの仕事取材してレポートにまとめる活動や、災害への備えに対する自分の考えを書く活動</p> <p>第5,6学年～考えが伝わるように書き方を工夫して意見文を書く活動や、相手や目的を考えて引用したり図表を用いたりしてパンフレットを作る活動</p> <p>○ 読むことについては、目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～役割を決めて音読したり演じたりする活動や、獣医の仕事を説明する文章を読んで考えたことを伝え合う活動</p> <p>第3,4学年～文章を読んで考えたことをまとめ、伝え合う活動や、登場人物の気持ちの変化について考えをまとめ、交流する活動</p> <p>第5,6学年～文章の要旨を捉え、考えたことを伝え合う活動や、構成や表現に着目し、作品の世界を想像しながら読む活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～「がくしゅう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、場面や登場人物の様子を想像しながら読んだり、文章を読んで分かったことを伝え合い、関連する本を選んで読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～「学習」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、筆者の説明の仕方の工夫を見付けながら読んで考えたことを伝え合ったり、物語を読んで登場人物の気持ちの移</p>				

	<p>り変わりについて考えたことを伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～「学習」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章と図表やグラフ、写真などを結び付けながら読んだり、複数の文章を読んで、それぞれの特徴について考えたことを伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～第1学年で、学校で見つけたものを知らせる文章を書く活動、第2学年で、町の中で見つけたもののよさを知らせる文章を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～第3学年で、相手に必要なことが伝わるように行事を案内する手紙を書く活動、第4学年で、相手に気持ちが伝わるように札状を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～第5学年で、特定の立場に立って意見を述べ合う活動、第6学年で、様々な考え方を聞いて自分の考えを広げたり深めたりする活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～知識及び技能は70教材、話すこと・聞くことは12教材、書くことは25教材、読むことは18教材であり、総ページ数は273ページで、前回より約1%増となっている。</p> <p>第2学年～知識及び技能は59教材、話すこと・聞くことは6教材、書くことは23教材、読むことは14教材であり、総ページ数は332ページで、前回より約3%増となっている。</p> <p>第3学年～知識及び技能は53教材、話すこと・聞くことは5教材、書くことは23教材、読むことは13教材であり、総ページ数は332ページで、前回より約3%増となっている。</p> <p>第4学年～知識及び技能は56教材、話すこと・聞くことは5教材、書くことは22教材、読むことは13教材であり、総ページ数は336ページで、前回より約3%増となっている。</p> <p>第5学年～知識及び技能は60教材、話すこと・聞くことは5教材、書くことは21教材、読むことは12教材であり、総ページ数は294ページで、前回より約1%減となっている。</p> <p>第6学年～知識及び技能は54教材、話すこと・聞くことは6教材、書くことは21教材、読むことは13教材であり、総ページ数は312ページで、前回とほぼ同様となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 夏休みの出来事を友達に知らせる活動（第1学年）や知らせたいことが読む人に伝わるよう工夫して新聞を作る活動（第4学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、図書館の活用方法や多様なジャンルの読み物を紹介した「本は友達」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「国語の学びを見わたそう」で学習の進め方や当該学年で学ぶ言葉の力を示したり（第2～6学年）、「見通しをもとう」で学習過程を明確にしたり（第2～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 自社作成の教科書体や着目させたい箇所及び文字の小さな箇所などにUD書体を使用したり（全学年）、複数の情報の識別が必要な図版の色の組み合わせや色調に配慮したり（全学年）するとともに、二次元コードを掲載し、発表や話し合いなどの動画資料、作家へのインタビュー等を</p>



	活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
指導上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域素材については，第2学年から第5学年では学校図書館の利用方法を段階的に学ぶことができ，第6学年では地域の図書館に加え，文学館や博物館などの活用を促すなど，児童の読書活動が広がるように工夫がなされている。</li> <li>○ ICTの活用については，1人1台端末を活用した学習活動として，報告文（第5学年）や意見文（第5学年），スピーチ（第6学年）など，発達段階に応じて活用できるよう設定される工夫がなされている。</li> <li>○ 小・中連携については，第6学年において，学年末に「卒業するみなさんへ」「中学校へつなげよう」の単元を設定し，小学校で各領域ごとに身に付けた力の確認と中学校への意欲化を図ることができるよう記述できる欄を設定する工夫がなされているとともに，第5学年と第6学年は，学年1冊の教科書となり，中学校入学時の環境の変化へ対応できるように配慮がなされている。</li> </ul>
本市児童の 学習の状況等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が単元の学習で身に付けた言葉の力を，その後の学習や生活で活用できるよう，単元の終末に「ふりかえろう」「たいせつ」を設定し，学習で身に付いた力を自覚させたり，学んだことを他教科・他領域に活用できる場面を「いかそう」に例示したりするなどの工夫がなされている。</li> <li>○ 目的に応じて，複数の資料から必要な情報を取り上げて表現する力を育むことができるよう，様々な方法で情報を収集して紹介文，意見文やパンフレットを書く活動，スピーチを行う活動等が設定されるとともに，一つのテーマに関する複数人の文章を比較しながら読み，自分の考えをまとめ，表現する題材が設定されるなどの工夫がなされている。</li> <li>○ 文章を根拠にして，自分の考えをまとめる力を育むことができるよう，「見通しをもとう」で読む目的を明確にし，単元の学習過程「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」を設定するとともに，着目すべき言葉や，考えをまとめる視点や例を示す配慮がなされている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 語彙を豊かにし，表現力を高められるよう，巻末に，発達段階に応じた思考や表現の助けとなる言葉を「言葉の宝箱」（全学年），「伝え合うための言葉」（第2～6学年）として掲載するとともに，「言葉について考えよう」（第2～6学年）で適切な言葉の活用について学習できるよう配慮がなされている。</li> </ul>